

大妻茶道部の活動

行事がたくさん — 各係より —

私達の部を支えているものは先生方のご配慮はもちろんのこと、他にも各係の活躍があります。以下、私達が大事にしてきた八つの係の仕事をご紹介します。紹介致します。

△会計係
会計係の仕事は大きく二つに別れています。一つは大金を管理する係で、こちらは主に銀行でのお金の出し入れや部員の月謝、先生への御月謝などの管理をしています。



大妻祭 添蓋茶会にて

スマス会や送別会等の企画があり、大変ですが楽しいです。会場の予約や進行のうちあわせ、準備で当日までは色々動きまわる事が多いのでテストと重なると大変ですが当日皆が喜んでくれた時はとても嬉しいものです。

△文連係
文化連合委員は文化系の部活で構成されている大妻女子大学文化連合に属する部活の代表です。主な仕事は、毎週木曜日の昼休みに行われる文化連合委員会に出席し、そこで決議された事項や連絡事項を部長又は副部長に伝達すること、入学後すぐに配られる一部活動のすすめ」に部活紹介を書くことです。部活内では目立たない役職ですが、委員会を一度でも欠席すると部の運営が成り立たなくなるので影ながら部に貢献するやりがいのある役職です。

△庶務編集係
庶務編集係は主な仕事としてOGの先輩、他大妻茶道部の方に四季の御挨拶状や茶会のご招待状お礼状などは書ききき

△合宿
合宿には、春合宿と夏合宿の二つの合宿があります。春合宿は、一年生だけで行きたい所を決め遊びに行くといったゆるゆるな合宿です。去年は箱根に一泊し、温泉でゆっくりと過ごし今後の部活の運営について話し合いました。

△渉外係
渉外の仕事は、普段は他校との交流を深めるため部員のみならずお茶会に出席してもらい、そのレポートを提出してもらい等々の仕事をしていきます。大きな仕事としてはクリ

△文化祭係
茶道部の活動の中で最も厳しくつらいものが鎌倉「円覚寺、雲頂禅庵」で行われる五泊六日の夏合宿です。この夏合宿の全てをとりしきるのが合宿係の仕事です。合宿前には二度程鎌倉に足を運び、お世話になっていきます。朝は四時半起床で読経、和尚様と共に過ごします。朝は四時半起床で読経、座禅を行い、その後は一日練習といったスケジュールで進められます。ここでの食事は全て自分で作り、食事のマナーをきちんと守らなければ

△送別会
一年生が企画して二年生を送り出します。ちよっと涙も見られます。

△新入生歓迎茶会
新入生に茶道部がどのような部であるか知ってもらえるよう企画します。

△夏合宿
五泊六日の鎌倉合宿で一年生は一通り点前をマスターします。はつきり

昨年、文化祭を白黒したこともありまして、どのように進めていったらよいかわからず不安でしたが先生方、先輩方の引き継ぎノートを頼りに何とか今年の文化祭を緊張と不安の中で約二百十余名の方々に茶会にご出席頂き、無事終了することができました。

今年も新校舎改築の為大妻庵を離れて活動室で行いました。来年は新しくきれいな大妻庵にて皆様をご招待できると思っています。

こうして親睦を深めている為いつものまにかはがきの数も増えますし、また一年たつごとに先輩も何十人と増えますので二ヶ月一度のはがき書きは莫大な枚数となりとても大変で忙しいです。

秋季係の仕事は、十二月に靖国神社で催される「雪待茶会」の準備、手配を中心に行います。一月一日には靖国神社に再来年の茶会を行うための茶室を予約しに行きます。又、十一月頃には



鎌倉合宿にて

お茶券の作成など諸々の準備に入ります。今年は茶道部四十周年ということで例年より華やかなものにし、成功させたいと願っております。

△道具係
道具係の仕事は、茶会前に使うお道具を決めたり、お菓子や花の注文、お道具の消毒などの仕事があります。また、当日はお茶を沸かす、炭をおこすといった準備の他に水屋の仕事全般に気を配り茶会がスムーズに進行できるように裏方で動くことが道具係の仕事です。道具にかかわることは全て仕事に含まれるので大変ですが、やりがいのある仕事です。

茶会の当日は寒さが厳しく、一昨年度はその名の通り雪が降ったそうです。昨年は災い雪や雨などに見まわれず良いお天気のなかで茶会を開くことができました。文化祭とはまた違って、立派なお茶室での茶会は心静かに落ち着いた雰囲気の中で開かれます。昨年は一年生が小間、二年生は広間、の二点前でしたが、今年は茶道部四十周年ということで、二年生は変わらさず広間ですが一年生は立礼を行なうことになりました。また、もう一席、自由な席（お客様が好きな時に私達も入る席）を設けました。どうぞごゆっくりお過ごし下さいませ。

△雪待茶会
「雪待茶会」とは、年に一度、靖国神社で催す茶会のことです。この「雪待茶会」という呼び名は、昭和五十一年度になりません。もちろん行事中も正座です。練習の時も食事の時も正座という事で一日目の夜から足のしびれに変わりひざが痛みだします。この痛みを乗り越えることが合

△雪待茶会
「雪待茶会」とは、年に一度、靖国神社で催す茶会のことです。この「雪待茶会」という呼び名は、昭和五十一年度になりません。もちろん行事中も正座です。練習の時も食事の時も正座という事で一日目の夜から足のしびれに変わりひざが痛みだします。この痛みを乗り越えることが合

△雪待茶会
「雪待茶会」とは、年に一度、靖国神社で催す茶会のことです。この「雪待茶会」という呼び名は、昭和五十一年度になりません。もちろん行事中も正座です。練習の時も食事の時も正座という事で一日目の夜から足のしびれに変わりひざが痛みだします。この痛みを乗り越えることが合

△雪待茶会
「雪待茶会」とは、年に一度、靖国神社で催す茶会のことです。この「雪待茶会」という呼び名は、昭和五十一年度になりません。もちろん行事中も正座です。練習の時も食事の時も正座という事で一日目の夜から足のしびれに変わりひざが痛みだします。この痛みを乗り越えることが合

クローズ・アップ — 合宿・雪待茶会 —

宿を乗り切ることといえなくらい過酷です。一年生はこの合宿で点前を覚え、五日目の早朝先達をお招きして恒例の朝茶会が終わると長くて辛い合宿も終わります。十二月という季節柄、

始めてお客様には大変好評を頂き今日まで十三年間続いています。実際、私達も気に入っています。今年もこの呼び名を使う予定です。

平成元年度部員一覽



- 1 班
- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1列目左より | 稲持里香 | 佐藤山子 |
| 2列目田村智弘 | 鈴木千鶴子 | |
| 3列目大野老左 | 魚津博美 | 宮島山紀子 |
| 4列目小林海 | 島由紀子 | |
| | 武田祐子 | 小方美幸 |

大妻茶道部のビッグイベントの一つにあたる夏合宿では四つの班に別れて練習を行います。この夏合宿の目的は、点前を覚えることはもちろんのこと精神鍛錬ということ、座禅、読経などの日常にないことも行うので初めのうちは涙する部員もいます。この辛い合宿を共に乗り越えることで協調性と貴重な思い出を

残していくのです。合宿に対するそれぞれの班の思いは様々ですがここで四つの班の雰囲気を紹介致します。

▲一 班▼
私達一班は、部長のいる班です。部長になつた人は必ず一班に入るようになっていきます。合宿中は部長の指示が一番先に伝わる班です。たとえ

私のような頼りない班長がいても部長の存在がそれを隠してくれます。他の班よりも厳しい班だと思われがちですが、私は特に変わらないと思っています。

一班には、円覚寺の合宿での朝茶会で、和尚様の席を設けるといふ大役があります。今年も大和尚様、大奥様、奥様が



- 2 班
- | | | |
|----------|-------|------|
| 1列目方より | 柳沢佳ノ音 | 松田愛子 |
| 2列目三浦知友 | 田中宏枝 | 佐野麻子 |
| 3列目矢野美智子 | 中島重弥子 | |
| 4列目金田真紀 | 登智さやか | 久松紀子 |
| | カメラマン | 竹原涼子 |

味わった気持ちです。これは、夏合宿での二班の感想です。一人一人の個性が強く、まとまるのだからかと思いましたがその一つ一つの個性が二班を支えてくれた気が致します。

▲二 班▼
二班には二つの顔があり、いつも明るく活発な雰囲気の中にある二班がなぜか涙もろいのです。それは、夏合宿の終わりに一年生が「先輩ありがとうごさいました。」と二年生に精一杯の感謝の意を表してくれた事にも感動し皆、涙したというエピソードがあったのです。苦しかった練習のせいではなく二班が一つになれた喜びの涙であつたと思います。一人



- 3 班
- | | | | |
|----------|-------|-------|-----|
| 1列目左より | 渡辺 容 | 三村福美 | 久保薫 |
| 2列目山本亜由美 | 山崎明子 | | |
| 3列目山本亜由美 | 橋出有希子 | 小路美千子 | |
| 4列目阿部 | | | |

一人の夏合宿に対する思いは違うと思いますがその瞬間は大きな意味があつたと思います。この感動を二班の伝統にしたいからと思います。

▲三 班▼
私達三班は、二年生五名、一年生九名の計十四名ですが、今回の合宿ではお道具係、合宿係、就職活動などで二年生がなかなか揃わず、最初からつまづいたという感じでした。

▲四 班▼
私達四班は、二年生五名、一年生八名の計十三名で成り立っています。四班は先輩もおっしゃっておりますが、毎年明るくやさしい人が集まるそうなんです。私達が一年生の時、二年生の先輩がとてもやさしい方ばかりで辛い合宿の時も先輩の前で泣いてはなぐさめていただいていた思い出もありました。

▲編集後記▼
この新聞は私達の最後のしめくりといえる仕事でした。四十周年という時期にあたり、茶道部を一度見直す為、茶道部に着手しました。何もわからず無我夢中でやってきましたので反省すべき点は多々ありますが、茶道部の歴史を知る点では皆様のご参考になったと思います。気持ちを新たに稽古に励んでいきたいと思っておりますので、これからも御指導の程よろしくお願致します。

- 4 班
- | | | | |
|----------|-------|-------|------|
| 1列目左より | 伊藤聡子 | 米田晴美 | 杉山朋子 |
| 2列目伊藤素子 | 小峰紀子 | 宝満隆子 | |
| 3列目山出理恵子 | 中村亜樹子 | 合形さちよ | |
| 4列目山金親幸乃 | 浅井万里 | 磯崎久子 | |
| | 枝川晶乃 | 鶴岡幸子 | |

次期部長・副部長決定

平成二年度の部長、副部長が決定されました。私達が卒業しても、安心して任せておけます。協力しあって頑張ってください。

次期部長 倉形さちよ
次期副部長 稲持里香

次期部長に選出されました倉形さちよです。茶道には大変興味があり、習いたいと思います。茶道は白分が考えていたよりも厳

しいことがありますが、それを超えらるることにより何かすばらしいものを得ようと思っております。まだまだ茶道について無知でいたため点が多いこととは思いますが、先生方、先輩方また同僚の方の暖かいお力添えと御指導の程よろしくお願致します。

次期副部長 稲持里香
次期副部長を努めさせ

て頂きます稲持里香と申します。

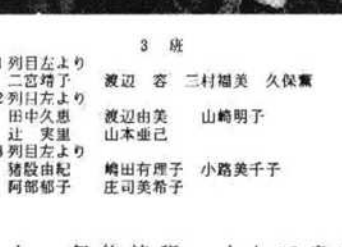
茶道部四十周年を迎えまして、その四十年という歳月は、私が今まで生きてきた十九年を二倍にして手が届かないという長い時間であり、しかも、その時間というものはこの部にとって大切な瞬間の繰返しであったと思えます。四十年の歴史、つぶさなないように、又瞬間を積み重ねていく

らと思えます。

次期副部長 田村智枝
次期副部長の田村智枝です。

四月、何も知らずに入部した私でしたが、この半年間で伝統の重みを知りながら多くのことを学ばせて頂きました。今度は私運の手でその伝統を守り、受け継いでいかねばと責任の重さを感じております。また、より一層の発展の為に常に新鮮な気持ちで取り組みたいと思えます。

皆様の変わらぬご指導の程、よろしくお願致します。



一年生は初めての合宿

▲一 班▼
一人の夏合宿に対する思いは違うと思いますがその瞬間は大きな意味があつたと思います。この感動を二班の伝統にしたいからと思います。

▲二 班▼
二班には二つの顔があり、いつも明るく活発な雰囲気の中にある二班がなぜか涙もろいのです。それは、夏合宿の終わりに一年生が「先輩ありがとうごさいました。」と二年生に精一杯の感謝の意を表してくれた事にも感動し皆、涙したというエピソードがあったのです。苦しかった練習のせいではなく二班が一つになれた喜びの涙であつたと思います。一人

▲三 班▼
私達三班は、二年生五名、一年生九名の計十四名ですが、今回の合宿ではお道具係、合宿係、就職活動などで二年生がなかなか揃わず、最初からつまづいたという感じでした。

▲四 班▼
私達四班は、二年生五名、一年生八名の計十三名で成り立っています。四班は先輩もおっしゃっておりますが、毎年明るくやさしい人が集まるそうなんです。私達が一年生の時、二年生の先輩がとてもやさしい方ばかりで辛い合宿の時も先輩の前で泣いてはなぐさめていただいていた思い出もありました。

▲編集後記▼
この新聞は私達の最後のしめくりといえる仕事でした。四十周年という時期にあたり、茶道部を一度見直す為、茶道部に着手しました。何もわからず無我夢中でやってきましたので反省すべき点は多々ありますが、茶道部の歴史を知る点では皆様のご参考になったと思います。気持ちを新たに稽古に励んでいきたいと思っておりますので、これからも御指導の程よろしくお願致します。

最後にありがとうございました。先生方にはお忙しい中ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

茶道部一同